

(連絡先)

中部運輸局自動車技術安全部

保安・環境課 西川、吉岡

TEL: 052-952-8044

## バスが動いているときは動かないでください！

～7月は「バス車内事故防止強化月間」です～

中部運輸局管内では、依然としてバス利用者が車内において転倒する車内事故が発生しており、骨折等による重傷者も継続的に発生しています(別紙1)。

中部運輸局では各県バス協会が実施する車内事故防止キャンペーン期間に合わせて、例年7月を「バス車内事故防止強化月間」に定め、下記の事項を通じて、バス事業者、バス利用者及び一般のドライバーに広く周知して参りますので、**バスの車内事故の防止**に向けご協力をお願いします。

### 記

1. **バス事業者に対する車内事故防止対策の徹底の要請**  
各県バス協会を通じ、取組みの徹底を要請します。

### 2. **バス利用者への啓発**

各県に所在する競技場等の大規模公共施設の電光掲示板への掲出(別紙2)や各自治体の広報へ掲載、バス車内やバスターミナルにおいてポスター(右図)の掲示やチラシの配布などにより、バス利用者への啓発を行います。

また「バス車内事故防止教室」(別紙3)を開催し、バス利用時の安全意識の更なる向上を図ります。

### 3. **一般のドライバーへの啓発**

一般車両や自転車がバスの直前に無理に割り込み、バスが急停車することによって乗客が転倒する事故を防ぐため、その他の自動車関係団体等に対し、バス車内事故防止への協力を依頼するとともに、管内の運輸支局・自動車検査登録事務所において、ポスターやチラシを用い、来庁者に対する啓発活動を実施します。



●国土交通省では、バス利用者、一般のドライバー、バス運転者といった方々に対する適切な行動の啓発のために、バス車内事故の危険性を分かりやすく紹介する動画を作成しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

・【バス車内事故防止のための啓発動画】

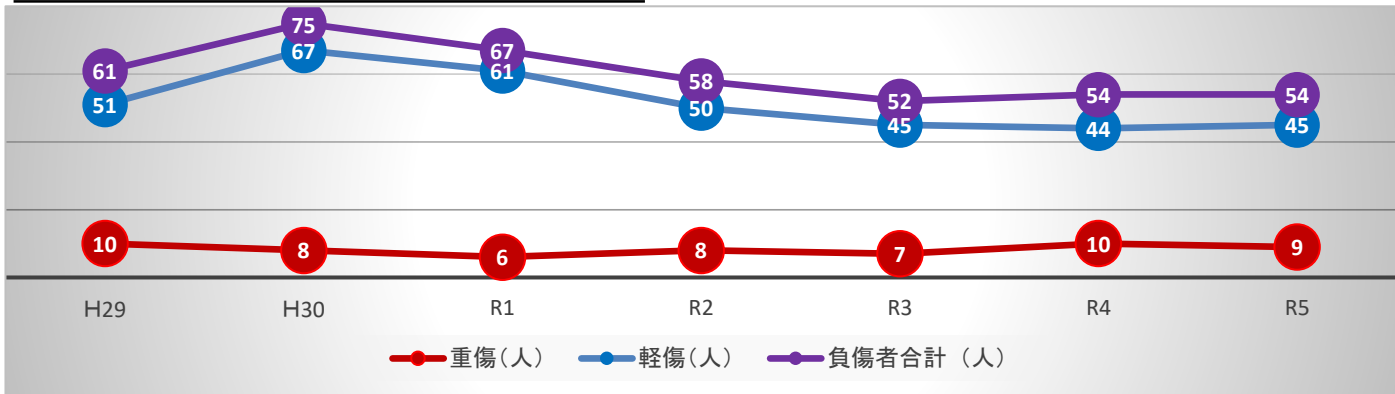
[https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk2\\_000161.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000161.html)



# バス車内事故に関する統計

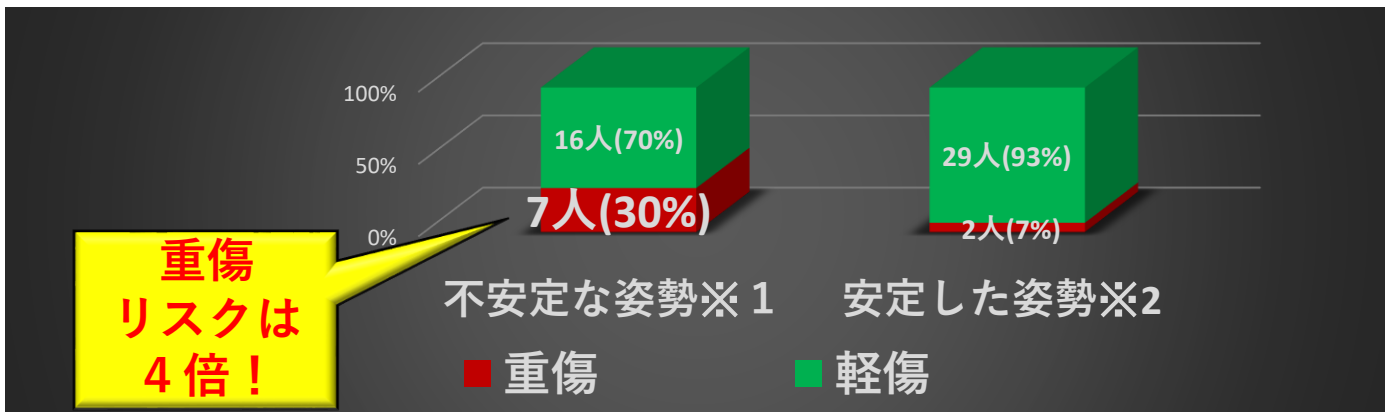
本統計は中部運輸局管内で報告のあった自動車事故報告書からバスの車内事故に関する件数等を抽出したものです。

## 1. 負傷者の数（年推移）



◆ 負傷者の発生人数はH30以降減少で推移していたが、近年は下げ止まり傾向。

## 2. 事故発生時の姿勢と負傷の程度

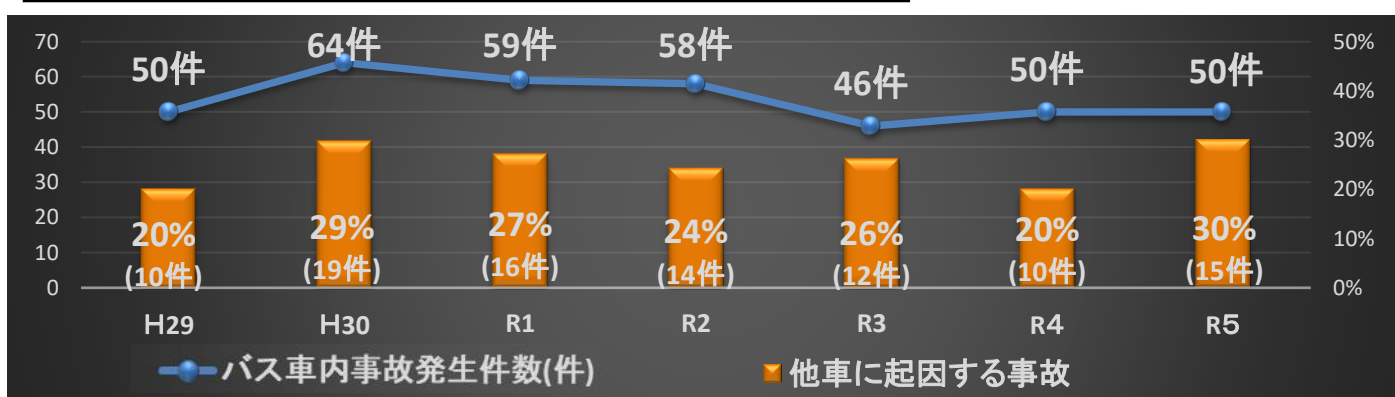


**重傷  
リスクは  
4倍！**

不安定な姿勢※1      安定した姿勢※2  
■ 重傷      ■ 軽傷

- ◆ 走行中に、立ち上がったり、車内を移動したりするなどの「不安定な姿勢」で負傷すると「30%」が重傷になるのに対し、「安定した姿勢」であれば負傷しても重傷となる割合は「7%」。
- ◆ つまり「不安定な姿勢」では「安定した姿勢」と比べて、重傷リスクが「およそ4倍」となる。
- ※1 不安定な姿勢：走行中に、立ち上がったり、車内を移動したりするなどのバスの急な挙動に対処できない姿勢
- ※2 安定した姿勢：上記以外の着座や手すり等につかまっている姿勢

## 3. バス車内事故発生件数（年推移）



◆ バス車内事故のうち、バスの前方割り込みなど他車に起因するものは、毎年2～3割の割合で発生している。

管内の各運輸支局を通じ、関係機関、集客施設へポスター・チラシ等を配布するなどして啓発への協力を依頼します。

## チラシ・ポスター

**バスが動いているときは動かないでください!**

乗車中は手すりやつり革等におつかまりください  
バスの扉が開くまで移動はお控えください



7月は「バス車内事故防止月間」です  
**バス車内事故防止にご協力ください**

国土交通省 中部運輸局  
Mission 1st

7月は「バス車内事故防止月間」です

**バス車内事故で多くの方が負傷されています**

バス車内事故により、依然として多くの方が負傷されています。(右表)

車内事故での負傷者数 (単位: 人)

種別	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
軽傷	51	67	61	50	45	44	45
合計	61	75	67	58	52	54	54

事故発生時の姿勢別負傷者の割合 (単位: %)

姿勢	割合
不安定な姿勢	7人(30%)
安定した姿勢	2人(7%)

不安定な姿勢: 歩行中、立ち上がり、乗内を移動したりするなどの「不安定な姿勢」で負傷されること(30%)が懸念になるのに対し、「安定した姿勢」であれば負傷されても重傷となる割合は「7%」にとどまります。(右表参照)

つまり「不安定な姿勢」では「安定した姿勢」と比べて、重傷リスクが「およそ4倍」となります。(右表参照)

※1 不安定な姿勢: 歩行中、立ち上がり、乗内を移動したりするなどの「不安定な姿勢」で負傷されること(30%)が懸念になるのに対し、「安定した姿勢」であれば負傷されても重傷となる割合は「7%」にとどまります。(右表参照)

※2 安定した姿勢: 上記以外の座席や手すり等につかまっての姿勢

**バス走行中は手すり等につかりおつかまりのうえ、お降りの際もバスが停車してから移動してください**



歩行中はおつかまりがたり、座席から立ち上がり

急ブレーキや手すり等による揺動等により転倒する危険があります

立席・座席問わず、手すりやつり革等に必ずつかまり、走行中の移動はやめましょう!

お降りの際も、バスが完全に停車するまで(バスの扉が開くまで)移動はお控えください。

バス運転者が気をつけて運転していても、やむを得ず急ブレーキを掛ける場合もあります。乗車中は、バスの急な挙動に対応できるように、ご注意をお願いします。

**お年寄りやお体の不自由な方、妊婦の方、小さなお子様連れの方に席をお譲りください。**

お年寄り、お体の不自由な方、妊婦の方および小さなお子様連れの方がバス車内において事故に遭われますと、大きな怪我に繋がることがあります。

上記の方を見かけられましたら、席をお譲りいただくなど、車内事故防止に向けた取組みにご協力をいただきたいと思います。

**優先席** Priority seat

国土交通省 中部運輸局  
Mission 1st

## 電光掲示板 (大型スクリーン等)

**バスが動いているときは動かないでください!!!**

7月は「バス車内事故防止月間」です  
**バス車内事故防止にご協力ください**

国土交通省 中部運輸局

## 電光掲示板への表示



(昨年度の競技場施設での表示)

## 7月期「バス車内事故防止教室」の開催日時

(主催：中部運輸局・名古屋市交通局、協力：名古屋市社会福祉協議会)

- ①令和6年7月 1日(月) 10:00~11:00  
(辻コミュニティセンター)
- ②令和6年7月 4日(木) 13:45~14:45  
(山田コミュニティセンター)
- ③令和6年7月 9日(火) 13:30~14:30  
(日比津コミュニティセンター)
- ④令和6年7月16日(火) 14:00~15:00  
(東海コミュニティセンター)
- ⑤令和6年7月18日(木) 9:40~10:40  
(志段味東コミュニティセンター)
- ⑥令和6年7月22日(月) 14:15~15:15  
(植田南コミュニティセンター)

### ・内容

バスを安全に利用するための乗車時における注意点等についてスライドを用いて解説し、利用者の安全意識の更なる向上を図ります。

### ・参加者

65歳以上の「高齢者はつつ長寿推進事業(注)」参加者

(注)各区の社会福祉協議会が名古屋市から委託を受け、高齢者を対象に健康増進活動等を通じ介護予防や仲間作り、地域活動への参加促進を図る事業

・取材につきましては、7月1日(辻コミュニティセンター)に限定させていただきます。取材を希望される方は、6月27日までに保安・環境課へ連絡をお願いします。

(連絡先)

中部運輸局自動車技術安全部保安・環境課  
西川、吉岡 TEL: 052-952-8044

